

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	カツラ・榊みよし物流センター	階数	地下3階
建設地	愛知県みよし市明知町柿ノ木30番1	構造	S造
用途地域	指定なし、法第22条区域	平均居住人員	40人
気候区分	6地域	年間使用時間	6,000時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年6月 予定	評価の実施日	2017年11月1日
敷地面積	9,396㎡	作成者	藤井良輔
建築面積	6,258㎡	確認日	2017年11月1日
延床面積	11,847㎡	確認者	藤井良輔



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値	100%
② 建築物の取組み	74%
③ 上記+②以外の	74%
④ 上記+	74%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比較したライフサイクルCO2排出量の目安を示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.0

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 重点項目

<h4>① 地球温暖化への配慮</h4> <p>4.0</p>	<h4>③ 敷地内の緑化</h4> <p>2.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p>23.2 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p>0.0 %</p>
<h4>② 資源の有効活用</h4> <p>3.0</p>	<h4>④ 地域材の活用</h4> <p>1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
 LR-3.1 地球温暖化への配慮
 外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積} - \text{建物面積(建築面積及び附属物面積)}} \times 100$

②資源の有効活用
 Q-2.2 耐用性・信頼性、Q-2.3 対応性・更新性
 LR-2.2 非再生性資源の使用量削減
 建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

③敷地内の緑化
 Q-3.1 生物環境の保全と創出



3 対応性・更新性				3.6	0.48			-	3.6
3.1 空間のゆとり				5.0	0.31			-	
1 階高のゆとり			倉庫1階:8.1m、3階:6.6m、事務所1階:4.05m、2階:4.05m	5.0	0.60			-	
2 空間の形状・自由さ			倉庫利用が目的なので広い空間を確保している	5.0	0.40			-	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.31			-	
3.3 設備の更新性				3.0	0.38			-	
1 空調配管の更新性		②		3.0	0.17			-	
2 給排水管の更新性				3.0	0.17			-	
3 電気配線の更新性				3.0	0.11			-	
4 通信配線の更新性				3.0	0.11			-	
5 設備機器の更新性				3.0	0.22			-	
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.22			-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.57			-	2.0
1 生物環境の保全と創出		独自③		2.0	0.30			-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④		2.0	0.40			-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30			-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④		2.0	0.50			-	
3.2 敷地内温暖環境の向上				2.0	0.50			-	
LR 建築物の環境負荷低減性									3.2
LR1 エネルギー									3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制				3.0	0.02			-	3.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.28			-	3.0
3 設備システムの高効率化			倉庫部設備未設置部分が	5.0	0.42			-	5.0
4 効率的運用				2.0	0.28			-	2.0
集合住宅以外の評価				2.0	1.00			-	
4.1 モニタリング				3.0	0.50			-	
4.2 運用管理体制				1.0	0.50			-	
集合住宅の評価				-	-			-	
4.1 モニタリング				-	-			-	
4.2 運用管理体制				-	-			-	
LR2 資源・マテリアル									3.1
1 水資源保護				3.4	0.15			-	3.4
1.1 節水			節水コマ、便器擬音装置付	4.0	0.40			-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60			-	
2 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.67			-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.33			-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.7	0.63			-	2.7
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.07			-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.25			-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		②	-	3.0	0.21			-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		独自	-	1.0	0.21			-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-			-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自	軽鉄十仕上材の構成により 分別を容易にしている	4.0	0.25			-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				4.3	0.22			-	4.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			F☆☆☆☆材の使用	5.0	0.32			-	
3.2 フロン・ハロンの回避				4.0	0.68			-	
1 消火剤				-	-			-	
2 発泡剤(断熱材等)			グラスウールの使用	5.0	0.50			-	
3 冷媒				3.0	0.50			-	
LR3 敷地外環境									2.8
1 地球温暖化への配慮		①	ライフサイクルCO2 排出率74%	4.0	0.33			-	4.0
2 地域環境への配慮				2.9	0.33			-	2.9
2.1 大気汚染防止			燃焼機器設置なし	5.0	0.25			-	
2.2 温暖環境悪化の改善				2.0	0.50			-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.7	0.25			-	
1 雨水排水負荷低減		独自		3.0	0.25			-	
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25			-	
3 交通負荷抑制		独自	敷地内駐車場の完備	4.0	0.25			-	
4 廃棄物処理負荷抑制				1.0	0.25			-	
3 周辺環境への配慮				1.6	0.33			-	1.6
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				-	-			-	
1 騒音		独自		-	-			-	
2 振動		独自		-	-			-	
3 悪臭				-	-			-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				1.6	0.67			-	
1 風害の抑制				1.0	0.70			-	
2 砂塵の抑制				-	-			-	
3 日照障害の抑制				3.0	0.30			-	
3.3 光害の抑制				1.6	0.33			-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				1.0	0.70			-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30			-	

重点項目スコアシート

カイツー備みよし物流センター

実施設計段階

■ 使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■ 評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				4.0
LR3-1	地球温暖化への配慮	4.0	0.10	
② 資源の有効活用				3.0
Q2-2	耐震性・信頼性	2.8	0.22	
Q2-3	対応性・更新性	3.6	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.7	0.19	
③ 敷地内の緑化				2.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.17	外構緑化:23.2%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用			(評価ポイント)	1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■ 重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 カリツ(株)みよし物流センター

計画上の配慮事項	
総合	注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 西、北、東境界側は緑地形成に努め、敷地南側は車路、駐車場空間とし、隣地からの建物の距離を確保した。窓面積を少なくし、騒音、光害の影響を少なくするように努めた。
Q1 室内環境	注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 評価対象外。居室空間配置を南東とし、自然光、採風の得やすい配置とした。
Q2 サービス性能	注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 空間のゆとりについては主用途が倉庫であるため、高さ、床荷重にはゆとりを持たせるよう配慮している。倉庫:1階階高は8.1m、3階は6.6m、事務エリア1、2階共は4.05m、3階床積載荷重は1.5トン/m ² を確保している
Q3 室外環境(敷地内)	注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 西、北、東面の境界沿いは緑地形成に努め、南面は茶屋川および水路などの空間も含めると隣地からの緩衝体としての空間が広くとれている。南側出入荷場の東面、西面は外壁とし、騒音、光害やごみなどの拡散を少なくできる様配慮した。
LR1 エネルギー	注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 一般照明機器をLEDとする。
LR2 資源・マテリアル	注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 節水型洋便器、自動洗浄小便器、自動水栓(一部)、F☆☆☆☆仕上げ材の使用。(塗装材、錆び止め、塗床材)。
LR3 敷地外環境	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 地下雨水浸透貯留槽の設置あり。従業員分と来客駐車場の設置あり。自転車置場(屋根付)の設置あり。
その他	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。